

シーボルト記念館だより NO.85

Siebold Memorial Museum Journal

平成30年度 シーボルト記念館展示予定

シーボルト記念館では、平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）に次のような企画展・特別展を開催します。

企画展「シーボルトとオタクサ」

（4月20日（金）～6月10日（日））

長崎市の花アジサイは、シーボルトと深い関わりがあります。シーボルトは、日本のアジサイを愛し、熱心に収集し研究しました。その花の一つを、愛する女性「おたきさん」にちなんで「オタクサ」と名づけたことでも有名です。帰国後、『日本植物誌』を刊行し、さまざまな種類のアジサイを紹介し、世界に広めました。本展では、『日本植物誌』をはじめ、シーボルトと植物にまつわる資料を中心に展示しています。シーボルトと長崎市の花アジサイについて、理解を深めていただければ幸いです。

【主な展示予定資料】

シーボルト妻子像螺鈿合子（複製）

「あじさい属日本植物原稿」（複製本）

シーボルト他『日本植物誌』第1巻（初版本）

シーボルト他『日本植物誌』第2巻（初版本）

特別展「秋帆がゆくー高島秋帆とその時代ー」

（9月7日（金）～11月4日（日））

高島秋帆（1798～1866）は、長崎の町年寄・砲術家。長崎警備の必要性から、出島のオランダ人に西洋砲術を学び、高島流砲術を創始しました。近年では、その伝授者はシーボルトであったともされています。今回の展示では、明治150年・生誕220年にあわせ、その波乱の生涯について、長崎の町年寄・砲術家・開国論者などさまざまな側面から紹介します。

※なお、名称・期間等は変更となることがあります。

